

平成 30 年 6 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

6 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 1 業種、昨年同等が 6 業種、悪化が 7 業種となり、全体の景況感 DI 値は 5 月に比べ悪化した。

小売業では、好天に恵まれ夏商材が売れたとの報告があったが、商店街、サービス業では、5 月の大型連休の反動から売上が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、燃料費等の経営コストが上昇しており、また、慢性的な人材不足により、受注の機会損失を招いている。

山口県の主要指標 DI 値 (平成 30 年 6 月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化： 33.8% DI 値： ▲31.3% ポイント

売上高

(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 15.0% 減少： 32.5% DI 値： ▲17.5% ポイント

収益状況

(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化： 30.0% DI 値： ▲23.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (平成 30 年 6 月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	0.0	0.0	▲24.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲33.3	▲100	▲18.2	▲40.0	▲14.3	▲100.0	▲36.2	▲31.3
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	梅雨の影響で消費意欲が減退しているのか、売上が少しずつ低下している。従来、入金に数日猶予をもたせていた共同購買のもち米について「入金後注文・発送」を徹底する規約を作成。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	25日時点の売上は、対前年同月比▲8%。4月以降、対前年同月比1割程度のマイナストレンドが続いている。広報宣伝強化のため、広告宣伝費を予定より300万円程度増やすこととした。	水産食料品製造業 萩市
	塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料や配送料の値上げがじわじわと影響している。地震などの不安感が広がると、消費が偏ってしまう。	水産食料品製造業 下関市
	例年に比べ雨の日が多く、作業が大幅に遅れている。特に最近では、地球温暖化により降雨量が増えてきている。突然の自然災害へ対応できるような仕組みづくりが必要になってきている。企業においても、停電などに対応できるような具体的な取り組みが必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	追加発注、新規発注により3ヶ月先までの仕事量は確保できている。その後の発注を確保するために、サンプル作成に追われている。多少現場が混乱状態であるが、生産に活気が出てきた様に見受けられる。製品納期がほぼ決まっているため、効率のよい生産体制が組めるよう、資材等の予定を詰めていく必要がある。	外衣・シャツ製造業 萩市
	学校制服の加工業務をしている企業では、年間通じて同じアイテムの生産を受注しており、仕事量に不足はないが、マンパワーに問題があるため、外国人技能実習生をあてにしている側面がある。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
	中国からの外国人技能実習生が6名来日。現在、ベトナム人40名+中国人23名=63名。	下着類製造業
木材・木製品	30年度の公共工事用の製材が始まり、操業度が若干上昇した。	製材業・木製品製造業
印刷	閑散期に入り、受注は停滞している。中国地区ブロック印刷協議会を開催した。	印刷 下関市
	入札もなく、受注が滞り始めている。	印刷 山口市
窯業・土石製品	6月の出荷量は、 （平成29年6月） 骨材 88%、路盤材122%、再生材142% ↓ （平成30年6月） 骨材112%、路盤材116%、再生材83%	砕石製造業

	出荷量は、対前月比98%、対前年同月比94%。平成30年度は前年度比約87%と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きはある。	生コンクリート製造業
	梅雨入りしたが、雨の影響を受けることなく仕事を進めることが出来ている。しかし、天気予報と食い違うこともあるので、現場（外仕事）なのか、工場での加工なのか、判断が難しい時もあった。	石工品製造業
	市内萩焼小売店、ネット販売商工会議所運営（e萩焼.com）、明倫学舎売店での売上は、昨年と比較して横ばい。ギフト・卸関係・百貨店の受注は、ややマイナスとなっている。浅草アンテナショップの売上は、昨年よりややアップしている。萩市観光協会によると、平成29年の萩市観光客数は242.0万人（28年241.7万人とほぼ横ばい）、宿泊者数は44.5万人（28年42.8万人）、特に気になるのが外国人宿泊者数で、平成29年は23,838人（28年16,215人）と大幅アップとなっており、本年も増加傾向にある。今後はこの外国人観光客に対する萩焼の販売を強化していく必要がある。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機械	前月と同様の推移。自動車関連、海外プラント関係（中国）、鋼構造物（鉄骨建屋関係）も順調。相変わらずの人材不足により、受注の機会損失を招いている。生産性向上のため、次月12時間安全管理研修を行う。研修では、働き方改革の一つである「多様な人材（高齢者、女性、外国人など）」に対する安全管理で配慮すべきところを取り上げる予定。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等全ての職種で業績は好調で、残業も多く、外国人技能実習生受入増員の相談が多い。介護をはじめ、新規受入希望相談も増加している。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。介護の受け入れについては、ハードルが高いため慎重に対応している。	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	鉄道車両、半導体製造装置、産業プラント部門ともに繁忙な状況が継続中。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	この時期は在庫が少ない。いりこが不漁のため高値となっており、昨年同様買うことができない状況。	乾物卸売業
	魚の入荷が少なく価格も安いので、収益が上がらない。ふぐについては品物はあるが、シーズンオフのためあまり売れない。	生鮮・魚介卸売業
小売業	天候が良かったため日焼け止め等夏商材が売れたが、その他の基礎化粧品等が伸びなかった。まだ資生堂において品切れが続いており、専門店にとって良くない状況が続いている。組合のプライベートブランドであ	化粧品小売業

	る化粧品のキリョウが製造中止（ハンドクリームとクリアアップウォーター以外）となった。今後どのように組合運営をしていくのか大変な状況である。	
	五日市市のイオン系「ジアトレット広島」が開業して二ヶ月が経ち、当初は同種の大型店も「大きな影響は無い」としていたが、最近消費動向がイオンに向けられている様に思われる。ファッション衣料系の小売業は、バーゲン開催前で大人しい。飲食店は、夏のイベントで活気が出ており好調な様子。	各種商品小売業 岩国市
	商店街にも「働き方改革」が影響しているのか、数店舗が営業時間を変更した。開店時間を遅くし、閉店時間は今まで通りとしている。	各種商品小売業 山口市
	商店街への来街者数が減少している。7月にお客様還元ポイント祭を開催するので、来街者数増加を期待したい。	各種商品小売業 下関市
	売上は減少傾向にあるが、売上が大きい旅行代理店及び酒のディスカウント店の売上が対前年同月比で増加したため、全体としては客数、売上ともに前年同月並となった。	各種商品小売業 長門市
商店街	高い利便性と価格の安さが要因なのか、ネット通販の利用がますます拡大し、商店街への来街者数が減少している。ネット通販対策と、空き店舗対策が急がれる。	山口市
	消費停滞ムードは変わらない。	宇部市
	商店街に新規飲食店が開業し、昼を中心として客数が多い様子。8月にも飲食店が開店する予定であり、他の店舗への影響に期待。商店街全体では売上状況は厳しい模様。	萩市
サービス業	梅雨入りした月初は雨が少なかったため、客足には影響なく、平年より売上が伸びたが、その状況は長く続かず、売上は落ち込んでいる。	美容業
	5月の大型連休の影響で来店サイクルに変化があり、減収となった。	理容業
	山口県内において5月末時点のハイブリッド車の保有台数が、97、638台となり、8月頃には10万台に達する見通しとなった。このハイブリッド車が出て20年が経過する中で、県内保有台数の一割を占めるまでになり、一般的な車になりつつある。電気自動車は、1、418台となるなど1年間で236台増加しているものの、普及するにはまだほど遠い状況といえる。	自動車整備業
	売上動向があまり良くない。	スポーツ・健康教授業

	5月末から6月序盤にかけて冬物衣類の依頼は好調を維持していたが、中旬以降パタリと止まってしまった。梅雨入り後、寝苦しい日が続くにつれ、毛布や羽毛布団が多く出てくるようになったが、コインランドリーを利用する消費者が増え、繁忙期の様相は大きく変化している。売上確保が難しいという声が多く上がっている中で、洗う回数を調整するなど経費削減を行い、利益を確保する動きが出ている。	普通洗濯業
	下関地区の駅にJR切符の新規契約を依頼したが、JR側の人手不足を理由に既存契約のみの対応となることで、新規組合員に対しては拒否されている状態。売上増加は困難と思われる。	旅行業
	全日本陸上をはじめ、いろんな大会が開催されたため、宿泊人員及び売上が2桁の伸びを示した。非常に好調な月であった。	旅館業 山口市
	売上高、施設利用者（入浴者）の減少が続いている。設備老朽化による改修工事の費用が増加し、資金繰りに大きく影響した。	旅館業 長門市
	観光客が減少している。下関駅のお土産の売上も減少している。	旅館業 下関市
	売上が落ち込む時期。天候にかなり左右される。これから台風などの影響が心配される。天候にともない、仕入れ価格の変動がある。夏に向けて休みやイベントとともに売上が上がることに期待。	飲食業
建設業	中電への工事申請は131件（当支部分105件）、前年同月142件（同118件）。太陽光発電への申請17件（前年20件）、オール電化申請78件（前年87件）。LED街路灯への切り替え・新規申請24件（前年17件）であった。	電気工事業
	工事総量は減っているが、一部の工事については工期の遅れに伴い県外からの応援調達が進む一方で、県外への出張に応じる建設業専門工事業者が増えている。技能者を巡る環境の改善を目指し、キャリアアップシステムへの登録要請が始まった。土曜日に現場を閉所する試みが始まっている。	左官業
	大きい工事がなく、規模の小さい仕事が多く入ってきている。3ヶ月程度で終わる仕事も多いので、それに伴い売上の回収も早くなっている。	管工事業
	雨天続きで現場の仕事が進まず、各社工事の進捗状況が悪化。加えて7月初旬の長雨に続く豪雨で、多少の修理は出たものの着工遅れが多く発生している。	屋根工事業
	4月から出来高が上がらなかったが、6月中旬より改善され、ようやく忙しくなってきた。大手ゼネコンの工事をやればこのような中弛みは無くなるのだろうが、地場ゼネコンとの取引だとどうしても空きが出てくるのは、今迄もそうだったので仕方ないように思わ	内装工事業

	れる。猛暑のため、現場作業においては特に作業員の健康管理が必要になる。	
	柳井地区では、戸建て住宅の着工があり、建設業はここそこに動いている模様だが、組合員の多くは土木建設業であり、公共の工事の発注が少なく、資材も動いていないとのこと。年間を通じての施工の平準化が達成されなければ、人材の確保等、働き方改革の実現は難しい。	土木工事業 柳井市
	久しぶりに3社が公共工事を受注することができた。	土木工事業 周南市
	受注高は、対前年同月比795.5%。今年度の累計は、対前年比254.9%。本年6月期は大型工事の受注が多かった。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は、国内・輸出ともに低調。梅雨入りし雨濡れ事故等が起こらないよう教育を徹底。鉄鋼業材等が特に低調。前年同月比約0.6%のマイナス。油関係は5.1円の値上げで、中小運輸業者にとって大きな痛手となった。再々ながら引取税の緩和が強く切望されている。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注は、対前年同月比10%強のプラス。燃料費については今月も大きく上昇しており、対前月比5%強、対前年同月比26%程度上昇した。	一般貨物自動車運送業 防府市
	基本的には、前年同月より売上、収益ともに好調だったが、大きな修繕の支出があり、収益状況は良くなかった。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上は昨年同等。大型船の入港があるが、タクシー利用の有無についての情報が毎回は入ってこない。観光の問い合わせは減少している。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、対前年同月比+3.2%（平成30年5月1日～平成30年6月20日分）。5月1日～31日分は+3.7%、6月1日～20日分は+2.5%。5月以降、前年より少し増加傾向にある。4月分について当組合の取扱地区別に見ると、周南+1.7%、下松+4.4%、光+8.6%、防府+6.1%で、組合員の全域では+3.2%、地区外（員外）+10.7%で、合計+3.7%（+758千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月487.5\$/トンが今月532.5\$/トン、前年390.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も（前月393.0\$/トンが今月440.0\$/トン、前年311.0\$/トン）上がった。為替も円安（前月108.44円/\$が110.74円/\$）になり、燃料単価は対前月比+5.8%、対前年同月比+15.6%の増加となった。タク	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>シー乗務員は慢性的に不足し、稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況がある。取扱金額は回復して来ているが、依然として不安定な状態である。</p>	
	<p>取扱高は、対前年同月比で若干減少。石灰石の取扱高に左右される傾向にある。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>介護において、外国人技能実習生の受入も本格化し、山口県のみならず隣県である福岡県や広島県などからも要望が多数ある。</p>	<p>介護事業</p>